



ゆ う き
友 絆

生徒と教師の合い言葉
～気づき、考え、実行する～
裏磐梯中学校だより 令和5年2月号
<https://kitashiobara.fcs.ed.jp>
発行者：校長 斎藤 一範

1・2年生のワカサギ教室



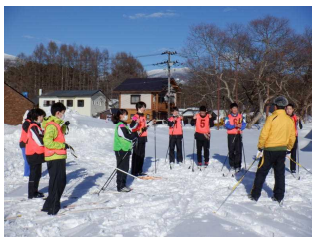
2月3日（金）にゴールドハウス目黒様にご協力いただき、1・2年生のワカサギ教室を行いました。ワカサギ教室は、子どもたちが、ふるさとの素晴らしい環境の中で体験活動を行い、ふるさとの魅力を再発見することを目的に、2年に1度、スキー教室と交互に行っています。初めて体験する生徒もいて、なかなか釣れずに苦労する場面もありましたが、最終的には、全員がワカサギを釣る喜びを味わうことができました。ワカサギ釣り体験終了後、ゴールドハウス目黒様のご厚意で、揚げたてのワカサギをいただくこともできました。子どもたちの思い出に残る体験となりました。本校のさまざまな教育活動が、地域の方々のご協力により成り立っていることを改めて感じました。体験場所をご提供いただいた、ゴールドハウス目黒様、本当にありがとうございました。

東北中学校スキー大会（アルペン競技）

1月25日（水）から27日（金）までの3日間、東北中学校スキー大会が猪苗代スキー場で行われました。本校からは、佐藤くんが、スラロームとジャイアントスラロームの2種目に出場しました。惜しくも入賞することはできませんでしたが、2種目とも最後まであきらめずに滑りきることでしました。今回の東北大会は、次年度につながる、貴重な経験となったと思います。今後の活躍を期待しています。



ネイチャースキー体験（森林環境学習）



2月17日（金）に2年生がネイチャースキー体験を行いました。子どもたちは、保健体育の授業の中でクロスカントリースキーに取り組んでおり、今回はその成果を確認する意味で、B級検定に挑戦しました。福島県スキー連盟の皆様を講師としてお招きし、ネイチャースキーの基本を丁寧に説明いただきながら、様々な滑り方に挑戦しました。天候に恵まれ、すばらし景色の中、笑顔でネイチャースキーに取り組む様子が随所に見られました。検定試験も見事全員が合格し、授業で頑張ってきた成果を十分に発揮することができたと思います。今回、ご協力いただきました小椋様をはじめ福島県スキー連盟の皆様、ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。



学校評価アンケートの結果と今後の取組について

1月号に引き続き、学校評価アンケートの結果をお知らせします。

まず、「自他のよさを認め、感謝の心をもち、進んで行動する態度の育成」についてです。

評価内容	生徒	保護者	教師
①親和的な集団づくり	4.2	3.6	3.7
②道徳的実践力の向上	4.0	3.5	3.6
③基本的な生活習慣の確立(あいさつ・課外等)	3.9	3.2	3.9

- ・4段階評価（5点～0点）
- ・目標値3.5以上

《今後重点的に取り組むべき課題》

- 「自己決定の場を与える」、「自己存在感を与える」、「共感的人間関係を育成する」の3つの生徒指導の機能を生かした授業及び学級づくりを推進していく。
- 時と場に応じたあいさつや返事、言葉遣いができるよう継続して指導していく。

次に、「生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎の育成」についてです。

評価内容	生徒	保護者	教師
①体力向上	3.9	3.9	4.2
②望ましい生活習慣(メディア利用・食事・睡眠等)	3.7	3.2	3.5
③安全教育	3.9	4.1	4.3

- ・4段階評価（5点～0点）
- ・目標値3.5以上

《今後重点的に取り組むべき課題》

- 裏磐梯中メディアリテラシー宣言や村のノーメディアデーなどを活用し、保護者と生徒の間でルールを共有し、正しくメディア利用できるよう引き続き支援する。そのための保護者への呼びかけを学級通信や保護者会などで行う。

最後に、「学校教育全般」についてです。

評価内容	生徒	保護者	教師
① 幼・小・中の連携	3.6	3.4	4.1
② 地域の環境や人材を生かした教育活動	3.7	3.5	3.9
③ 学校施設・設備の安全	4.2	3.7	3.9

- ・4段階評価（5点～0点）
- ・目標値3.5以上

《今後重点的に取り組むべき課題》

- 幼小中の連携を図った、体験活動や交流活動の充実を図るとともに、今後も地域教育力を生かした活動を重視し、地域と共にある学校づくりを推進していく。